

# 1176. 初等函数ノ特徴付ケ

春木 博 (神戸高等商船學校)

## § 1. 指数函数ノ特徴付ケ

指数函数  $\sum_{n=0}^{\infty} \frac{z^n}{n!}$  ハ解析学ニ於テ、重要ナル意義ヲ持ツ。今之レヲ種々ノ方面ヨリ特徴付ケテ見ヨウ。

**定理1**  $f(z)$  ヲ或ル領域  $D$ ニ於テ、一價正則ナル函数トシ、且ツソコデ、函数方程式  $f(z_1 + z_2) = f(z_1)f(z_2)$  ヲ満足スルナラバ  $f(z) = e^{\alpha z}$  デアル。但シ茲ニ、 $\alpha$  ハ任意ノ複素常数トシ、 $f(z) \equiv 0$  ナル場合ハ除ク。

**定理2**  $f(z)$  ヲ或ル領域  $D$ ニ於テ、一價正則ナル函数トシ、且ツソコデ、微分方程式  $f'(z) = f(z)$  ヲ満足スルナラバ  $f(z) = \alpha e^z$  デアル。但シ  $\alpha$  ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

**定理3**  $f(z)$  ヲ整函数トシ、且ツ次数  $\nu$  1 デ0 ナル値ヲ取ラザレバ  $f(z) = e^{\alpha z + \beta}$  デアル。但シ  $\alpha$  ナラザル任意ノ複素常数デ、 $\beta$  ハ任意ノ複素常数トスル。

以上ノ三定理ノ証明ハ容易デアル。

**定理4**  $f(z)$  ヲ或ル領域デ、一價正則ナル (恒等的ニハ常数デナイ) 函数トシ、ソノ領域デ、 $|f(z)|$  ガ  $x$  ノミノ函数ナラバ、 $(z = x + iy)$ 、 $f(z) = e^{\alpha z + \beta}$  デアル。但シ  $\alpha$  ハ0 ナラザル任意ノ實常数トシ、 $\beta$  ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

(証明)  $f(z)$  は恒等的に常數でない正則函数であるから、  
 $D$  の適当な部分領域  $D^*$  であつて  $f(z) \neq 0$  である。

故に、 $\varphi(z) = \log f(z)$  とおけば  $\varphi(z)$  は  $D^*$  上で、一  
價正則で、且つ  $f(z)$  の假定から  $\{R\{\varphi(z)\}$  は  $\varphi(z)$  の實數  
部分を表す)

$$R\{\varphi(z)\} = P(x)$$

茲に  $P(x)$  は  $x$  の調和函数ナル故  $P(x) = \alpha x + \beta$   
但し  $\alpha, \beta$  は任意の實常數で  $\alpha \neq 0$  ナリトスル。

之ヨリ  $f(z) = e^{\varphi(z)}$  となれば  $f(z) = e^{\alpha z + \beta}$  となる。但し  $\alpha$  は  
 $0$  ナラザル任意の實常數で、 $\beta$  は任意の複素常數ナリト  
スル。

以上ノ四定理ニ於テ  $f(z) = e^z$  トスルニハ **定理1**ニ於  
テハ  $f'(0) = 1$  ( $D$  が原点ヲ含ムトスル), **定理2**ニ於テ  
ハ  $f(0) = 1$  ( $D$  が原点ヲ含ムトスル), **定理3** 及び **定理4**  
ニ於テハ  $f(0) = 1, f'(0) = 1$  等ノ假定ヲ附ケ加ヘレバ  
ヨイ。

筆者ハ、教物記事 Vol. 25, No. 7 July, 1943ニ於テ次ノ  
理ヲ証明シタ。

**定理5**  $f(z)$  が原点ヲ含ム或ル領域  $D$ ニ於テ一價正則ニ  
シテ、且つ  $D$ ニ於ケル  $f(z)$ ニ關スル *Betragfläche*  
ノ凡ベテノ點が拋物點ナル函数トシ、更ニ  $f(0) = f'(0)$   
 $= 1$  ナラバ、 $f(z) = e^z$  である。

次ニ函数ノ單葉性ニ依リ初等函数ヲ特徴付ケテ見ヨウ。  
先ツ指数函数カラ始メル。ソレニハ次ノ *Bieberbach*

1 定理及び Löwner 1 定理が基本ナル。

Bieberbach 1 定理  $f(z) = z + a_2 z^2 + a_3 z^3 + \dots + a_n$

$z^n + \dots$  が  $|z| < 1$  デー價正則且ツ單葉ニシテ、 $a_2 = 2e^{i\theta}$  ナラバ

$$f(z) = \frac{z}{(1 - e^{i\theta} z)^2} \text{ デアル。但シ } \theta \text{ ハ任意ノ實数ナリト}$$

スル。

Löwner 1 定理  $f(z) = z + a_2 z^2 + a_3 z^3 + \dots + a_n z^n + \dots$

が  $|z| < 1$  デー價正則且ツ單葉ニシテ、 $a_3 = 3e^{2i\theta}$  ナラバ

$$f'(z) = \frac{z}{(1 - e^{i\theta} z)^2}$$

デアル。但シ  $\theta$  ハ任意ノ實数ナリトスル。

定理 6  $f(z)$  が  $0 < \varphi(z) < 2\pi$  ( $\varphi(z)$  ハ  $z$  ノ虚数部分ヲ表ハス) デ、一價正則且ツ單葉ニシテ、次ノ(1), (2) ノ中、何レカ一方ノ条件ヲ満足スルナラバ  $f(z) = \alpha e^{\frac{z}{\beta}}$  デアル。茲ニ  $\alpha$  ハ 0 ナラザル任意ノ複素常数、 $\beta$  ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

$$(1) f'(i\pi) = f''(i\pi)$$

$$(2) f'(i\pi) = f'''(i\pi)$$

(証明)  $g(z) = f\left\{2 \log \frac{i(1+z)}{1-z}\right\}$  トオケバ、 $f(z)$  = 関スル假定ニヨリ、容易ニ  $g(z)$  ハ  $|z| < 1$  ニテ、一價正則ニシテ且ツ單葉ナルコトガ判ル。

$g(z)$  ノ巾級数ニ展開スレバ

$$g(z) = f(i\pi) + 4f'(i\pi)z + 8f''(i\pi)z^2 + \frac{4}{3}\{f'(i\pi) + 8f'''(i\pi)\}z^3 + \dots$$

$f(z)$  / 単葉性 = 依り.  $f'(i\pi) \neq 0$  ナル

故  $h(z) = \frac{g(z) - f'(i\pi)}{4f'(i\pi)}$

トオクトキ

$$h(z) = z + \frac{2f''(i\pi)}{f'(i\pi)}z^2 + \frac{1}{3}\left\{1 + \frac{8f'''(i\pi)}{f'(i\pi)}\right\}z^3 + \dots$$

(1) ナル條件が満足サレレバ、 $h(z)$ ハ  $|z| < 1$  デ正則且ツ  
 単葉デ  $z^2$  / 係数が 2 ナル故 Bieberbach / 定理 =  
 ヨリ ( $0 = 0$  ナル場合)

$$h(z) = \frac{z}{(1-z)^2}$$

同様ニシテ、(2) ナル條件が満足サレレバ、前記 Löwner  
 / 定理 = ヨリ ( $f(0) = 0$  ナル場合)

$$h(z) = \frac{z}{(1-z)^2}$$

何レノ場合ニモセヨ、オキ戻セバ  $f(z) = \alpha e^z + \beta$  ( $\alpha \neq 0$ )  
 / 形ニナル。

上ノ定理ヨリ直ニ二次ノ系ヲ得ル。

**系**  $f(z)$  ヲ **定理6** / 條件ヲ満足スル函数トシ、更ニ  $f(i\pi) = -1$ ,  $f'(i\pi) = -1$  ナラバ  $f(z) = e^z$  デアル。

§2. 次ニ三角函数ヲ **定理6** ヲ得タ時ト同ジセウナ方法

ニヨツテ特徴付ケテ見ヨフ。

先ヅ  $\sin z$  ノカラ始メル。

**定理7**  $f(z)$  ガ  $-\frac{\pi}{2} < R(z) < \frac{\pi}{2}$  ( $R(z)$  ハ  $z$  / 實数部分ヲ

表ハスルヲ、一價正則且ツ單葉ニシテ、ソコデ1ナル値ヲ取ラズ  $f(0)=0, f'(0)=1, f''(0)=0$  ナラバ  $f(z) = \sin z$  デアル。

(証明)

$$g(z) = \frac{1}{f(i \log \frac{1+z}{1-z}) - 1} \quad \text{トオケバ、} f(z) = \text{関スル假}$$

定ニヨリ、容易ニ、 $g(z)$  ハ  $|z| < 1$  ニテ、一價正則ニシテ、且ツ單葉ナルコトガ判ル。

$g(z)$  ノ中級数ニ展開スレバ

$$g(z) = -1 - 2iz + 4z^2 + \dots$$

$$h(z) = -\frac{g(z)+1}{2i} \quad \text{トオケバ}$$

$$h(z) = z + 2iz^2 + \dots$$

$h(z)$  ハ  $|z| < 1$  デ一價正則且ツ單葉ニシテ  $z^2$  ノ係数が  $2i$  ナル故、前記 Bieberbach ノ定理ニヨリ ( $\theta = \frac{\pi}{2}$  ナル場合)

$$h(z) = \frac{z}{(1-iz)^2}$$

オキ戻セバ、  $f(z) = \frac{e^{iz} - e^{-iz}}{2i} = \sin z$

次ニ  $\cos z$  ノ特徴付ケヨウ、

**定理 8**  $f(z)$  ガ  $0 < R(z) < \pi$  デ一價正則且ツ單葉ニシテ、ソコデ1ナル値ヲ取ラズ、 $f(\frac{\pi}{2})=0, f'(\frac{\pi}{2})=-1, f''(\frac{\pi}{2})=0$  ナラバ  $f(z) = \cos z$  デアル。

(証明)  $f_1(z) = f(\frac{\pi}{2} - z)$  トオケバ、假定ニヨリ、 $f_1(z)$

ハ  $-\frac{\pi}{2} < R(Z) < \frac{\pi}{2}$  デ一價正則且ツ單葉ニシテ、ソコデ  
 1ナル値ヲ取ラス。  $f_1(0) = 0$ ,  $f_1'(0) = 1$ ,  $f_1''(0) = 0$  ナ  
 ルコトガ判ルカラ。

**定理 7** = ヨリ  $f_1(Z) = \sin Z$

オキ戻セバ  $f(Z) = \cos Z$

次ニ  $\tan Z$  ヲ特徴付ケヨウ。

**定理 9**  $f(Z)$  ガ  $-\frac{\pi}{2} < R(Z) < \frac{\pi}{2}$  デ一價正則且ツ單葉  
 ニシテ、ソコデ 0ナル値ヲ取ラス、  $f(0) = 0$ ,  $f'(0) = 1$ ,  
 $f''(0) = 0$  ナラバ

$f(Z) = \tan Z$  デアル。

(証明) 定理 7ニ於ケル証明ノヤウニ、今度ハ

$$g(Z) = \frac{1}{f(i \log \frac{1+Z}{1-Z}) - i}$$

トオケバ、アトハ全ク同ジヤウニシテ出来る。

次ニ  $\cot Z$  ヲ特徴付ケヨウ。

**定理 10**  $f(Z)$  ガ  $0 < R(Z) < \pi$  デ、一價正則且ツ單葉  
 ニシテ、ソコデ  $i$ ナル値ヲ取ラス  $f(\frac{\pi}{2}) = 0$ ,  $f'(\frac{\pi}{2}) = -1$ ,  
 $f''(\frac{\pi}{2}) = 0$  ナラバ  $f(Z) = \cot Z$  デアル。

(証明)  $f_1(Z) = f(\frac{\pi}{2} - Z)$  トオケバ定理 9ニ歸着サレル。

以上ノ結果ヲ表示スレバ次ノ如クナル。

正則単葉領域	指定した除外値	函数及その導函数、値=ツイ、條件	求ムル函数
$0 < \Im(z) < 2\pi$		$f(\pi i) = f'(\pi i) = f''(\pi i) = 1$	$e^z$
$-\frac{\pi}{2} < \Re(z) < \frac{\pi}{2}$	1	$f(0) = 0, f'(0) = 1, f''(0) = 0$	$\sin z$
$0 < \Re(z) < \pi$	1	$f(\frac{\pi}{2}) = 0, f'(\frac{\pi}{2}) = -1, f''(\frac{\pi}{2}) = 0$	$\cos z$
$-\frac{\pi}{2} < \Re(z) < \frac{\pi}{2}$	$i$	$f(0) = 0, f'(0) = 1, f''(0) = 0$	$\tan z$
$0 < \Re(z) < \pi$	$i$	$f(\frac{\pi}{2}) = 0, f'(\frac{\pi}{2}) = -1, f''(\frac{\pi}{2}) = 0$	$\cot z$

次 =  $\sec z$  を特徴付けよう。

**定理 11**  $f(z)$  が  $0 < \Re(z) < \pi$  で単葉ニシテ、 $z = \frac{\pi}{2}$  で極ヲ有シ、他ノ点デハ一價正則デ、ソコデ 0, 1 ナル値ヲ取ラズ、

$h(z) = \frac{1}{f(z)}$  トオクトキ  $h'(\frac{\pi}{2}) = -1, h''(\frac{\pi}{2}) = 0$  ナラバ

$$f(z) = \sec z \quad \text{デアル。}$$

(証明)  $h(z)$  が定理 8 の条件ヲ満足スルコトカラ明カデアル。

次 =  $\operatorname{cosec} z$  を特徴付けよう。

**定理 12**  $f(z)$  が  $-\frac{\pi}{2} < \Re(z) < \frac{\pi}{2}$  で単葉ニシテ、

$z = 0$  で極ヲ有シ、他ノ点デハ一價正則デ、ソコデ 0, 1

ナル値ヲ取ラズ、 $h(z) = \frac{1}{f(z)}$  トオクトキ  $h'(0) = 1,$

$h''(0) = 0$  ナラバ

$$f(z) = \operatorname{cosec} z \quad \text{デアル。}$$

(証明)  $h(z)$  が定理7の条件ヲ満足スルコトカラ明カ  
デアル。

§ 3. 二次式  $aZ^2 + bZ + c$  の特徴付ケ

筆者ハ数物記事 Vol. 25, No. 7, July 1943. 於テ、次  
ノ定理ヲ證明シタ。

**定理13**  $f(z)$  が  $R(z) > 0$  デー價正則且ツ單葉ニシテ  
ソコデ、次ノ(1) 或ハ(2)ノ条件ノ中、何レカ一方ヲ満足  
スルナラバ、

$$f(z) = \alpha z^2 + \beta$$

デアル。但シ  $\alpha$  ハ 0 ナラザル任意ノ複素常数、 $\beta$  ハ任意  
ノ複素常数トスル。

$$(1) \quad f''(1) - f'(1) = 0$$

$$(2) \quad f'''(1) + 3f''(1) - 3f'(1) = 0$$

次ニコノ定理ヲ利用シテ一次変換  $Z' = Z + \frac{b}{2a}$  = ヲリ

容易ニ次ノ定理ヲ得ル。

**定理14**  $f(z)$  が  $R(z) > R\left(-\frac{b}{2a}\right)$  デー價正則且ツ單葉  
ニシテ、ソコデ次ノ(1), (2)ノ中何レカ一方ノ条件ヲ充ス  
ナラバ

$$f(z) = \alpha(aZ^2 + bZ + c)$$

デアル。但シ  $\alpha, a$  ハ 0 ナラザル任意ノ複素常数、 $b,$   
 $c$  ハ任意ノ複素常数ナリトスル。



$$(1) f''\left(1 - \frac{b}{2a}\right) - f'\left(1 - \frac{b}{2a}\right) = 0$$

$$(2) f'''(1 - \frac{b}{2a}) + 3f''(1 - \frac{b}{2a}) - 3f'(1 - \frac{b}{2a}) = 0$$

#### § 4. 巾函数ノ特徴付ケ

次ニ、巾函数  $Z^n$  ( $n$ ハ正ノ整数)ヲ特徴付ケテ見ヨウ。

**定理15**  $f(z)$ ガ  $-\frac{\pi}{n} < \arg C(z) < \frac{\pi}{n}$  デ一價正則且

ツ單葉ニシテ且ツ  $(n-1)f'(1) - f^n(1) = 0$  ナラバ

$$f(z) = \alpha z^n + \beta$$

デアル。但シ  $n$ ハ正ノ整数ニシテ、 $\alpha$ ハ0ナラザル任意ノ複素常数、 $\beta$ ハ任意ノ複素常数ナリトスル。

(証明)  $g(z) = f\left\{\left(\frac{1+z}{1-z}\right)^{\frac{n}{2}}\right\}$  トオイテ前述ノ方法ニ従ヘバ同様ニシテ出来ル。

**系**  $f(z)$ ガ定理15ノ条件ヲ満足シ、更ニ  $f(1) = 1$ ,

$f'(1) = n$  ナラバ  $f(z) = z^n$  デアル。

-(完)-